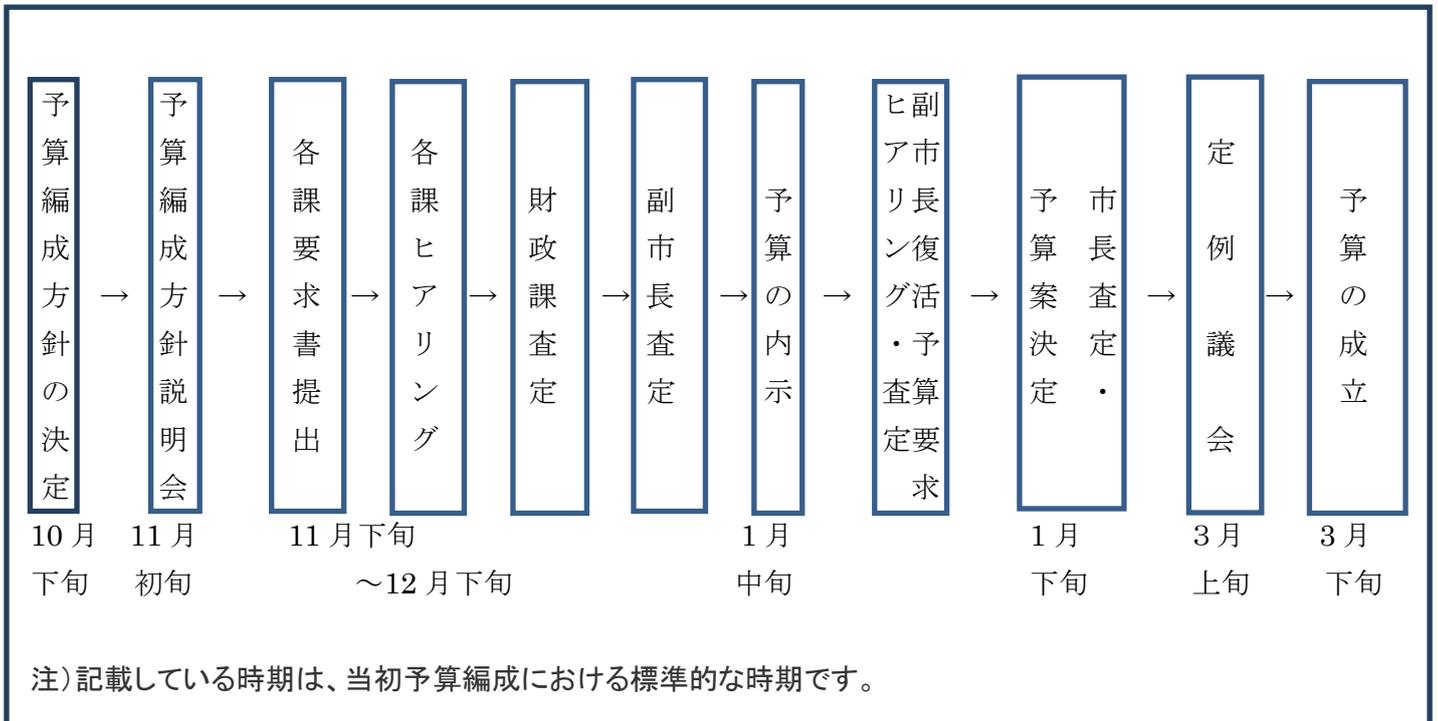


○当初予算編成の流れ

いちき串木野市の当初予算編成の流れについては、次のとおりです。



予算は、市長が予算案を作成し、年度開始前に市議会の議決を経ることとなっています。

しかしながら、市が行う事務事業すべてを市長が精査し、判断することは困難であることから、予算編成を的確かつ効率的に行うため、段階的な査定作業を行っています。

① 予算要求と財政課査定

本市では、各課長が11月下旬に予算編成方針を踏まえ財務課長に対して予算要求を行います。この要求を財政課が各課とのヒアリングを通じて、それぞれの事業の内容や必要性、経費の内訳、財源など予算編成方針に沿った内容であるか検討します。財政課長は、この結果の報告を受け、全体の財源状況などを踏まえ財政課長段階で「計上」するもの、次の段階(副市長段階)での判断に委ねるために「保留」とするもの、課題等があるため計上を行わないもの「ゼロ査定」等に仕分けます。

② 副市長査定と内示

副市長は査定案を調整し、副市長査定結果を各課長に通知します。

③ 復活要求

各課長は、副市長査定での内示において減額またはゼロ査定となった事業に対し、内示の趣旨を十分検討したうえで再度必要と認めるものについて、復活要求をすることができます。復活要求を受けて、副市長は財政課長段階と同様に仕分けを行い査定案を調整し、副市長査定結果を各課長に通知します。

なお、各課長は、各段階での内示及び査定を行った後、制度改正、単価改正、新たな条件による積算内容が変更となった場合などにおいては、調整を行い計上額や財源内訳を増減させます。

④ 市長査定

市長は、予算全体について政策的判断及び財源状況等を踏まえ査定を行い、予算案を最終的に決定します。